

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------|---|---|------|--|
| I. 理念に基づく運営 | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | |
| 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 地域の行事参加や、ボランティアを受け入れるなど、地域の方々との交流を大切にしている | | |
| 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 管理者のみならず他職員も、地域の活動に利用者さんと共に積極的に参加し、その取り組みを共有している | | |
| 3 | ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる | 地域の催し物(朝市など)に出来る限り利用者さんと参加し、地域の方にもご理解ご協力を頂いている 又、その活動を家族にも報告し、ご理解を得ている | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | |
| 4 | ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | 散歩に出かけた折など、利用者様や職員は、ご近所の方と季節の挨拶を交わすなど気軽に行っている | ○ | ご近所の方とは、もっと親密な良い関係を保てるよう、GHの職員サイドでも笑顔で挨拶を交わすこと、感謝の気持ちを伝えること等、行っていきたい |
| 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 地域の子供会の古紙回収に毎月参加しており、その際、地域の方に直接予定をホームに届けていただいている 又、近隣の小学校の運動会に毎年参加させてもらっている | ○ | もっと参加させていただく行事などは無いか、広報紙などもこまめにチェックする必要がある |

洛和グループホーム大山崎(1階)

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|---|--|------|---|
| 6 | ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | 地域の高齢者が、毎日のように基を指しにグループホームにやってくる、利用者様も喜んでおられる グループホームの職員は、その方とのさり気ない会話の中でも、困っておられることがないかなど、キャッチしている | ○ | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | |
| 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 職員全員の意見を出し合い、自己評価を行うことにより、日々の業務を振り返り、職員同士の意見交換を行うツールとして活用できている 又、外部評価については、環境整備を見直す良い機会ともなった | ○ | 前回、前々回ともに、玄関前やホーム周辺の緑化等について指摘を頂いており、今回はそのご意見をもとに、玄関前の環境整備に努めるよい機会となったが、今後も続けていきたい |
| 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2ヶ月に1度の運営推進会議では、民生委員様、家族様、地域包括支援センターの職員の方より、毎回ホームに対して熱い意見を頂いている | ○ | 前回、家族様より「いつ来ても、話しやすい雰囲気である」とのお言葉をいただいたが、継続して心がけていきたい事項である |
| 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 市町村担当者が、ヴィラ大山崎を訪ねてこられた折グループホームにも来られることがあり、気軽にホームのことについて話せる関係を保っている | | |
| 10 | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | 利用者様に成年後見制度を利用しておられる方がいらっしゃるの、入居される折に、ひととおりの説明を受けた また、折に触れ、連絡を取り、後見人氏(司法書士)とは、話し合いの場をもっている | | |
| 11 | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 虐待防止については、6月のミーティングで介護事業部から配布された資料をもとに、学習を行った 拘束の禁止であったが、拘束も虐待と捉え、絶対にあってはいけないことと、全職員に周知徹底した | ○ | 引き続き、勉強会やミーティングを通じて、学習を続けていきたい |

洛和グループホーム大山崎(1階)

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|---|---|--|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | |
| 12 | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | <p>左記の要項を行うときは、十分な説明を行い、利用者様、家族様に納得していただいた上で入居していただいている 入居時の説明が不足であったとの、苦情は無い</p> | |
| 13 | <p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>利用者様の意見、不満、苦情を常に汲み取れるよう、職員は常にアンテナをはっている 又、意見を所定の用紙に書き入れ、対処出来る様、全職員で共有している それらはISO審査の折、審査を受ける対象となっている</p> | |
| 14 | <p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> | <p>健康状態については、常に家族様(成年後見人を含む)に報告している 薬の変更についても、その都度報告を行っている 金銭の出納帳を記入し、施設長印を押印(確認)してもらったのち、毎月家族様に報告を行っている</p> | |
| 15 | <p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>家族様の意見、不満、苦情については、直接職員に申し入れがあったときは、迅速に対処するようにしており、常にホーム玄関に苦情箱、所定の用紙を置くことにより、家族様の意見を汲み上げるようにしている ISO審査の対象となっている</p> | |
| 16 | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | <p>定期的に行っているミーティング(月1回)により、職員の意見や提案を聞いている 又、常時話し合う(職員と管理者)機会を持ち、意見を交換している その意見が現在、環境整備などに活かされている</p> | <p>○ できるだけ多くの意見を取り入れられるよう、運営についての議論の場になるよう、充実したミーティングになるよう、司会の工夫が必要と思う</p> |
| 17 | <p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> | <p>利用者様の受診の援助等、家族様の協力が困難な場合は、勤務変更を行ったり、残業を行うなどして、職員同士話し合いをした上で、勤務調整を行っている</p> | |
| 18 | <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>馴染みの職員が共に暮らしているようにしている 社内異動がある時は、影響しないように、人数、時期を把握している</p> | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|--|---|----------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援 | | | |
| 19 | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | 年間計画を立て、段階的に研修に参加している | |
| 20 | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | 全老施協、府老協に入会 施設長の情報交換、研修会、勉強会に前向きに出席 | |
| 21 | <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p> | 洛和会ヘルスケアシステム、EAP相談室を活用 | |
| 22 | <p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p> | 管理者による年2回の個人面談を実施 本人の希望など自主申告にもとづいて | |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | |
| 23 | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> | 介護支援部入居相談担当者が説明、相談にのっておりご本人や家族様の思いを受けとめている | |
| 24 | <p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> | 利用に至るまでの不安な気持ちを和らげるため、入居相談担当者が常に連絡を取ったり、実際にホームに足を運んでいた職員と会話することにより、ご家族の気持を受けとめている | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|--|------|--|
| 25 | ○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 入居希望時、面接者とともにアセスメントを取り、本人のニーズ、家族にニーズを把握したうえで、入居を進めていく(他サービスの提示もする) | | |
| 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | ご利用申込時に(ご本人が来られる場合)、ご家族と共に見学して頂いたり、家庭で使ってこられた家具の持ち込みなどを依頼し、出来る限り住み慣れた環境作りを心掛ける | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | |
| 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 料理、掃除や行き方など教えてもらうこと多々あり | | |
| 28 | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | 面会時などに利用者様の近況報告を行い、外出時なども家族に参加していただく行事も作り、良い関係が築けている | ○ | 面会が来るのが少ない方や、利用者様より訴えがあったときなどは、職員より電話にて面会に来てもらうよう伝えている |
| 29 | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | 頻回に面会に来られる家族様もおられ、利用者様も心待ちにしている | | |
| 30 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 時々面会に来られたり、電話をかけたりすることあり | ○ | 場所については、ドライブや買い物に出掛け、馴染みの場所を通ったり立ち寄りしたりと、時折しているが、全利用者様には対応出来ていない |
| 31 | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | 利用者同士で会話したり、家事をしたりすること多くあり CWも仲介に入り良い関係が保てるようにしている | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|---|--|------|--|
| 32 | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | むかひの特養に入所された方には面会している | ○ | 入院され退所した方でも、その病院へお見舞いに行く等している |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | |
| 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 職員が利用者様の個々の希望を聞き入れ実施している | | |
| 34 | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | センター方式やケース記録を活用し、職員一人一人が把握するようにしている | ○ | 家族面会時に、会話の中からリサーチしている |
| 35 | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | 利用者様一人一人のペースにあわせ、尊厳あるケアを心掛けている | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | |
| 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | ミーティングや勉強会を行い、意見交換を行っている | ○ | 家族の意向を取り入れたり、往診医、NSの意見を聞き、よりいっそう利用者本位の介護計画に近づけるよう努める |
| 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 通常3ヶ月後に見直しを行っている また退院時や状態変化時も職員や家族の意見を取り入れ行っている | | |

洛和グループホーム大山崎(1階)

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|--|---|------|---|
| 38 | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 介護計画の実施記録と評価をもとに、記録し実践している | ○ | いろいろな視点から介護計画の見直しを行うために、全職員が評価し、意見や気付いた点を出し合っている |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | |
| 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 受診時、本来家族が行って頂く事になっているが、ご都合などにより無理なときはCWが受診に同行するなど、柔軟に対応している | ○ | 各個人に必要な生活用品等、家族に依頼して持ってきていただいているが、度重なると家族への負担にもなるので、利用者様とドライブがてらに買い物へ行き購入するなどして対応している |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | |
| 40 | ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | 子供ボランティア参加の子供たちや、傾聴ボランティア、また地域の方が利用者と囲碁をするためにまめに訪れてくれている | | |
| 41 | ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | GHは地域密着型であり、入居者の受け入れ時、地域のケアマネジャーとの交流がし易くなった 互いに情報交換が行える | | |
| 42 | ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 2ヶ月に1度運営推進会議を行い、地域の方々との意見交換の場を設けている | ○ | 地域包括支援センターより来訪していただく運営推進会議がもっと活発な内容になるよう努力していきたい |
| 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 月に2回以上往診医を導入し、週に1回以上訪問看護師が健康管理に訪れている 週に1回訪問歯科を導入 | | |

洛和グループホーム大山崎(1階)

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|--|------|---|
| 44 | <p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p> | | |
| 45 | <p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p> | | |
| 46 | <p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p> | | |
| 47 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p> | ○ | <p>ホームとしても今後ターミナルケアを受け入れていく状況が出てくると思われる 各利用者様、家族、Dr、Ns、CWが早い段階での方針を検討していく必要あり</p> |
| 48 | <p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p> | ○ | <p>高齢者であるため、いつ何時急変するかわからないので、余裕を持ったケアをしていくには、早急にターミナルケアについての話し合いをする必要がある</p> |
| 49 | <p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p> | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|--|---|
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | |
| 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | カルテ等の個人情報については、鍵のかかる事務所にて管理している 目上の方、人生の先輩としてCW全員が認知し、声掛けに配慮している | |
| 51 | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | 自ら声にして、希望することを行動に移す際には、援助支援を行い、実行にためらっていると判断される利用者には、CWが声を掛け促し行う | |
| 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 適宜に声掛け、その日実行したことを聞いて行っている 又、家事作業、レクリエーションについてもCWの声掛けで本人が希望したことのみ実行 CWも共同作業に加わる | |
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | |
| 53 | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている | 個人の希望に応じて、地域の理髪店を支援している 又、日頃の身だしなみも出来ない方は適宜介助し、おしゃれを楽しんで頂く(整容etc) | |
| 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 出来る方には、簡単な調理や盛り付けを共に行って頂き、配膳も一緒に行う 又、下膳については、ほぼ全員の利用者に自らして頂いている | |
| 55 | ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | 嗜好品(ホームで提供する以外の食べ物)は、各々個別に居室で食べて頂いている(飴、パンなど) 生ものも、ホームで預かり、随時ご本人に提供している | ○ お正月や敬老の日、クリスマスなどの行事には、希望される方については、ビール等を提供し楽しみをもってもらっている |

洛和グループホーム大山崎(1階)

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------------|--|---|------|--|
| 56 | ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | 一人一人の排泄リズムをセンター方式シートを利用して把握し、お一人でトイレに行けない方は、その都度トイレ誘導し、排泄介助を行っている | | |
| 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | その日のその方の体調を見ながら、希望に応じ入浴して頂いている 混乱が見られる方については、タイミングを見計らい、無理そうな時は、少し時間をおき再度促すという様にしている | | |
| 58 | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | 人によって就寝時間は違うので、消灯時間は決めていない まだ起きておられる方々で、会話や面白そうなTV番組を提供し、就寝までの時間をのんびり過ごしてもらっている | ○ | 不安や訴えがある方には、個々に対応、傾聴し、CWと一緒に過ごすことで安心して頂く |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | |
| 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | ご本人や家族との会話の中から、生活歴などをアセスメントしたり、日々の生活の中から、ご本人の役割などを見つけ出し共に支援していくようにする | | |
| 60 | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | ご自分でお金を管理できる方には、持って頂き、スーパーやパン屋さんでの買い物はご自分で支払って頂いている | | |
| 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 玄関の出入りは自由に行える様、鍵は開けている 各々の利用者さんが、好きな時に外出出来る様に見守っている | ○ | ドライブ、買い物、散歩、外出、喫茶等も日によって対応している |
| 62 | ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | 近場は普段から外出できているが、遠いところはなかなか外出できていない 公用車利用やご家族の面会時に機会を作っていく | ○ | 一人一人の行きたい所を尋ね(考え)、個別対応にて希望の外出をしていきたい |

洛和グループホーム大山崎(1階)

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|---|--|------|--|
| 63 | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 希望時はいつでも利用出来る様に支援している | ○ | 外出時に郵便局へ立ち寄り、切手やハガキを購入される等、大切な方へのやりとりが出来る様に支援を行っている |
| 64 | ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | 何時でも気軽に来て頂き、食事や宿泊もされている | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | |
| 65 | ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 拘束はまったく行っていない | ○ | 離設される利用者様についても、自由に外出して頂き、言葉掛けや工夫をし、自らホームに戻って来られる様なケアを行っている |
| 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 日中は鍵をかけておらず、自由に入出りできる | | |
| 67 | ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | 利用者様によって対応に工夫しており、そっと遠くから見守っている方や、さり気なくその方の側へ行き言葉をかけ、寄り添うなどしている 夜間は、23時、1時、3時、5時に巡視を行っている | | |
| 68 | ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | リビング、居室共に物品の配置を換える等、少しでも安全に過ごして頂けるように、その都度対応し取り組んでいる | | |
| 69 | ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | マニュアルを作り全職員が把握することで、事故防止に努めている | ○ | 定期的に講習や勉強会を行ったり、参加することで、事故を未然に防いでいけるよう、今以上に取り組んでいく |

洛和グループホーム大山崎(1階)

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|--|------|--|
| 70 | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | 急変(日中、夜間)マニュアル、事故(転倒等利用者のもの)、マニュアルにて対応 急変時は済生会HPが提携HPとなる 救命救急講習、CW全員受講済み | ○ | 救命救急講習については、受講有効期限が設けられているので、定期的に受講し訓練していく |
| 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 火災地震マニュアルにて対応 1年に1回消防士に来てもらい、火災時の避難訓練実施 非常時CW連絡網有り | ○ | 水害についてのマニュアルは無し |
| 72 | ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている | 家族が面会の為来ホームされた時、日々の生活を伝えその方の心身の状態や転倒他、起こりえるリスクについて、その都度説明を行っている | ○ | 面会時に家族様と多く会話し、関係を密にする事で、リスクについて理解して頂いている |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | |
| 73 | ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | 定期的にバイタル測定し、異変時はその場に居るCWで利用者の状態観察を行い対応している 受診するかどうかの判断は、訪看や管理者、往診医に相談し行っている | ○ | 受診する程でなくとも、各関係者に往診時伝える職員同士は連絡ノートで情報を共有し、速やかな対応を心掛けている |
| 74 | ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬辞典を購入し、効能、副作用について理解を深めている また服薬一覧表を作成し、服薬ミスの防止に努めている | ○ | 薬の効能、副作用については、月1回勉強会を実施している |
| 75 | ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | 水分補給や食物繊維、ヨーグルトなどを積極的に摂取出来る様に献立を工夫したり言葉掛けを行っている 適度な運動を意識的に支援している 又、必要に応じて医師に相談し指示を得ている | ○ | 希望する利用者様には、起床時に冷たい牛乳を提供する等の対応をしている |
| 76 | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | 週1回の訪問歯科医の往診を受けている | ○ | 義歯の方については、洗浄後預かり洗浄剤につけている全員に食後、就寝前の口腔ケアの言葉かけをし、介助の必要な方は、介助実施している |

洛和グループホーム大山崎(1階)

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|---|--|------|--|
| 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | その方に応じた食事形態(荒刻み、刻み一口大、トロミ)で提供している 食べている最中も、よく噛んで頂くように言葉掛けをしたり、むせ込み等、状態観察している | ○ | 水分については、毎食後やおやつ、体操、散歩、入浴後等、時々において飲み物にも飽きが来ないよう、種類に工夫しながら提供している |
| 78 | ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | 予防接種の実施や、マニュアルを作成し対応している | ○ | CWも感染予防の為、マスクやビニール手袋を適宜つける等対応している |
| 79 | ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | 布巾、包丁、まな板については、夜勤者がハイター消毒を行い、賞味期限の過ぎた食品は破棄している 調理前に必ずCW、利用者に手洗い実行 | ○ | 食材が無駄にならないように、職員同士が心掛け、連携をとりながら賞味期限内に使う様実施している |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | |
| 80 | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | スロープにプランターを設置 スロープ、庭の掃き掃除適宜行っている | | |
| 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 玄関には憩いの場を作り、日差しが直接当たらないように日除けスクリーンを設置したベンチで座って過ごすだけでなく、花を植える等して目を楽ませる工夫をしている 各居室や浴室、トイレ等に暖簾をする事により生活感を出している | | |
| 82 | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 食堂とリビングを区切る事で、気の合う方と過ごしたり、TVを見たい方、見たくない方それぞれ思い思いに過ごして頂けるようにしている | ○ | 利用者様のADLの違いによって、嫌がられる方もあるので、その都度希望に応じ、テーブルの配置換えや、席替えをする等の対応をしている |

洛和グループホーム大山崎(1階)

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|---|---|------|---|
| 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 馴染んで暮らしていた家から、家具や小物などを持ってきて頂き、居室に置くことで、少しでもその方が居心地欲過ごして頂けるような空間を作っている | | |
| 84 | ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | 定期的に空調掃除実施 夜間、早朝、日中(1時～3時)の気温の変化の大きい時間は、居室フロア一見守り調整を行う | | |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | |
| 85 | ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 床はバリアフリー、壁には手摺を設置している 家具の配置は、転倒リスクを避けるため、定期的に見直している | ○ | 極力、自力した生活を送って頂ける様、過干渉な介護、援助は避けるが、見守りや様観は怠らず行う |
| 86 | ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | その方の言動や行動を観察し、察知することでその方の思いを受け止め、言葉がけしたり、促したりして誘導する 時には、一部介助を行い少しでも出来る事は自分でしてもらう | | |
| 87 | ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | 玄関などにベンチを置き、のんびりくつろげるスペースがある 花を植え、日差しよけを取り付けたガーデニングスペースもあり、季節の花が楽しめる | | |

| V. サービスの成果に関する項目 | | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 | |
|------------------|--|-----------------------|--------------|
| 項 目 | | | |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ○ | ①ほぼ全ての利用者の |
| | | | ②利用者の2/3くらいの |
| | | | ③利用者の1/3くらいの |
| | | | ④ほとんど掴んでいない |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ | ①毎日ある |
| | | | ②数日に1回程度ある |
| | | | ③たまにある |
| | | | ④ほとんどない |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 94 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ | ①ほぼ全ての家族と |
| | | | ②家族の2/3くらいと |
| | | | ③家族の1/3くらいと |
| | | | ④ほとんどできていない |

洛和グループホーム大山崎(1階)

| 項 目 | | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 | |
|-----|---|-----------------------|--------------|
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ○ | ①ほぼ毎日のように |
| | | | ②数日に1回程度 |
| | | | ③たまに |
| | | | ④ほとんどない |
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ | ①大いに増えている |
| | | | ②少しずつ増えている |
| | | | ③あまり増えていない |
| | | | ④全くいない |
| 98 | 職員は、生き生きと働いている | ○ | ①ほぼ全ての職員が |
| | | | ②職員の2/3くらいが |
| | | | ③職員の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | ①ほぼ全ての家族等が |
| | | | ②家族等の2/3くらいが |
| | | | ③家族等の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどできていない |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

日常生活で行う家事について、個々、得手不得手がある
選別し皆が参加する事で、自立支援につながる様努めている